



へら研阪神クラブ会報

平成三十年九月号 No.536

発行〒666-0024 川西市久代1丁目5番42号

(株) クシロ内 へら研阪神クラブ

TEL 072-759-7023 FAX 072-759-8615

藻かけ

Photo 伊藤規行、瀬野利夫、郷田 満、滝沢 享 編集 滝沢 享 稲森 豊、岡田寿夫、杉原武弘

八月例会

滝沢 享

八月五日(日)、兵庫県の加古川(加古川大堰より上流)に於いて、会員25名の参加を得て開催した。

午前5時30分、加古川万歳橋右岸下流の駐車場に集合。稲森会長の挨拶、郷田理事長より競技方法の説明と最近の状況報告が田路さんよりあり、粟田橋右岸下流、大住橋右岸岩盤付近、大堰左岸上流カラオケ前では釣れているとの事。

フリーで各自目指すポイントへと向かい、試釣報告で釣れていた各ポイントと新大堰橋左岸下流へと入川。平水で少し透明度も高いが、普段の加古川でモジリも少しあり、雰囲気は良さそうだが中々アタリが出ない。昨日釣れていた大堰左岸上流は多人数が入ったせいか不調。大住橋右岸上流の岩盤はウキの横でへらのモジリが出るも喰い気がないのかアタリも遠く、たまに当ればスレアタリ。

新大堰橋や粟田橋付近も不調で、釣れていた大住橋右岸上流の岩盤付近へと場所替わりするが、根掛かりも多く、おまけにアタリも遠く苦戦した。

午後4時、検寸終了。

大門堰下に入った谷名さんが40cmと39cmを揃え優勝。2位の北尾さんは中国道下へ場所替わりし、3位の私、滝沢は大住橋右岸上流の岩盤でそれぞれ良型を釣り入賞した。釣果率28%



八月例会成績表 (ヘラブナニ尾長寸)

優勝	谷名 正博	79.4cm	350点
2位	北尾 博之	77.6cm	340点
3位	滝沢 享	77.1cm	330点
4位	高木 勇作	38.3cm	320点
5位	田路 秀一	37.5cm	310点
6位	柴田 忠幸	36.7cm	300点
7位	伊藤 規行	36.5cm	290点

(以下参加点100点)

森田 定美、松下 英樹、栗原 天高
 藤井 秀和、杉山 健一、元吉 茂司
 岡田 寿夫、瀬野 利夫、白井 良紀
 藤井 栄子、郷田 満、大橋 充
 三木 修、明石 徹、稲森 豊
 山本 勉、岡 修司、川上大二郎

前日釣れていた大堰左岸上流、今日は不調！
 杉山さん、三木さん、藤井夫妻



大住橋右岸上流岩盤のしも手
 瀬野さん、伊藤さん



大堰左岸上流・長竿でアタリを待つ稲森さん

大住橋右岸上流岩盤のしも手、
 2枚目のヘラを釣る滝沢さん



大住橋右岸上流岩盤の川上さん

大住橋右岸上流岩盤の
 しも手へ場所替わりし
 ヘラを釣った伊藤さん



大住橋右岸上流で釣れた36cmのヘラブナ

感謝！感激！の初優勝！



柴田さん

優勝者 谷名 正博

例会が加古川に決まり、台風12号通過時に津山を留守にしている、田んぼの状況も気になっていたので例会終了後、津山へ行くことと予定しました。

例会は加古川大堰より上流となっていたので、「河川のヘラブナ釣り」、マップ、藻かげを参考にポイント選定をしましたが、豪雨で川の状態が分からず、猛暑なので水通しが良く、流れのある所で、私の実績のあるポイント「大門の堰下」と決めました。

例会集合時間がサマータイムになっていたの、朝三時五〇分に出発。集合場所では元吉さんが「谷名さん、帽子は井関かKubotaが似合ってるよ」(笑)、

「大門の堰に行くの?」「あそこしかない」と挨拶を交わす。

田路さんの状況報告では、カラオケ前が釣れているとの事。(心が動かされる)フリーの入川が始まり、万歳橋交差点を多くの車が下流に向けて走らせている。私は左折し、一路大門の堰を目指し、左岸堤防に到着。護岸の上に笹が茂っており、大雨でゴミが笹の上に乗っている。堤防上から暫く川を見てみると、岸よりの流れがある所でモジリがある。去年入った所の笹が少し切れているので、まず護岸までの道作り。笹の上にかずらが茂っており、鎌でかずらを切りながら護岸まで。護岸はのり面が急なのでロープで岸へ降りる。

ひと汗かいて暫く見ていると下流の21尺で届きそうな所でモジリた。流れがきついで、稲森会長からレクチャーを受けた0・8号オモリのドボン仕掛け。エサは持った方がいいので、尺上とわたグル1対1で練り込み、エサ打ち開始。小一時間エサ打ちをすると、落ち込み、シモリで触りが出だした。シモリながらのツンアタリ。やったーと思ったらマブナ、次もマブナ、次はコイ。ポイント選定を誤ったかと思いつつエサ打ちを続ける。

十時頃と同じようなアタリ、またコイが強烈な引き。竿をためて弱るのを待つ。上で空気を吸わそうと見たらヘラ

じやないか。一瞬のされそうになったが何とか玉網へ。本日の1枚目40・7cmを釣る。その後、触りは出るが明確なアタリが出ず、十二時頃ウキのボディが出る食い上げアタリを合わせるとガツンと来た。水面まで上がって来たが、沖に走られハリス切れ、逃げた魚は大きい。

その後、アタリも無くなり、根掛かり、高切れ、ウキの回収、今日はこれまでかと思ったが、午後2時と時間があつたので、仕掛けを作り直し、エサもいもグルテン+α21にして、1投目のアタリで2枚目の38・7cmを釣りました。

集合場所に戻り、郷田理事長の『優勝』の声。阪神クラブ入会して19年目にして初優勝です。感謝！感激！です。

例会終了後、津山へ帰りましたが、田んぼは無事で、稲は元気に出穂していました。感謝！感激！です。

《七月例会中止》

6月28日〜7月8日に西日本を中心に豪雨が降り続き、愛媛県、広島県、岡山県、兵庫県、京都府等、11府県に大雨特別警報が発令され、特に愛媛県、広島県、岡山県で河川の氾濫等で甚大な被害が続出。

また、道路網も寸断され、中国自動車道も通行止めされ、開通したのが例会当日の午前7時だった。7月例会は加古川に決まっていたが、役員が検討し、一部の会員宅に避難指示

大堰左岸上流・最後の1投で38cmを釣った高木さん



が出された上、加古川上流で氾濫危険水位まで上昇し、高速道路の通行止め等を加味し、会員皆様の安全を最優先として前日の土曜日に中止を決定致しました。

へら研阪神クラブ発足史上、月例会を中止したのは2度目で、1度目は昭和天皇が崩御された時。昨年の開拓会(9月)も台風の影響で中止しましたが、今回の様な自然災害での例会では初めての出来事。

地球温暖化の影響で気候変動が大きくなり、豪雨のあとは猛暑が続き、人命に大きく関わり、自分の身は自分で守る行動を取らなくてはなりません。

今後も気候変動の影響を受けることは確実で、今回の様なケースがまた起こる可能性は大です。尚、7月例会が中止になった為、毎月発行してました藻かげ八月号は休刊となりました。



八月例会 加古川 上位入賞者の仕掛け、エサなど

	竿	道糸	ハリス	ハリ	エサ	釣り方	釣果
優勝 谷名正博	2.1尺	1.5号	1号	上 9号 下 9号	上下とも 尺上、わたグル	水深2m ドボン	2枚
2位 北尾博之	2.1尺	2号	1号	上 10号 下 9号	上 マッシュ、マツハ、バラケG 下 新べらグルテン、α21	4m宙	5枚
3位 滝沢 享	2.1尺	2号	1号	上 7号 下 7号	上 マッシュ、もじり、BBフラッシュ、サギ 下 新べらグルテン、いもグル、わたグル	水深3m 片キン	3枚
4位 高木勇作	2.5尺	2.5号	1号	上 7号 下 7号	上下とも α21	水深2m 床	1枚
5位 田路秀一	2.1尺	1.5号	1号	上 7号 下 7号	上下とも 新べらグルテン α21、いもグル	水深2.2m ドボン	1枚